



相模原商工会議所 都市産業研究会 TEL:042-753-8131 FAX: 042-753-7637

## 5月度 定例会報告 ~都産研おじさんの歴史探訪!??~

去る5月24日(日)午後2時より相模原の歴史について、相模原市立博物館にて同博物館の学芸班指導主事の上原様の説明付き見学会が開催されました。当日は、小雨の中会員と会員の奥様二人そして、会員の中学生のお孫様を含め、総勢15名が参加。驚いた事が三つ。①相模原市は市政として見ると近代として県下でも新しく、名簿順位ではいつも一番後ろの表記になっていますが、歴史を考えれば、石器時代→縄文時代→(何故か弥生時代が無い)からで“**どんなもんだ**”と一人個人的に誇っていました。②雨の日曜日なのに大勢の来場者で駐車場がいっぱいで、老若男女・子供と多岐にわたる来場者の顔ぶれでビックリ。また、来場者が近隣の市の人が比較的来場している事にも驚きました。③相模原市立博物館が県内に於いても有数の総合博物館。特にプラネタリウムは県内最大の二つの内の一つで、全体的な施設も立派で驚きました。考察として、まさに「温故知新」。来年の政令市を目指している相模原市に特に必要な気がしてきました。中央集権体制「古い国のかたち」の役目が必要であった時代から、今度は「新しい国のかたち」である地方分権時代に必然的にならざるを得ない今、市民がみずからの創意と工夫と責任のみずから街づくりをする為にも一度過去を振り返る必要があると感じました。(担当:原 保美、白井憲二)



### 特別な思いの博物館



緑の中の博物館は私の大好きな場所である。なぜ好きなのか判らないが、もしかしたら博物館の開館と主人の旅立ち(平成7年)と同じ年であるからかも知れない。相模原の歴史がいっぱい詰まり、そこに佇めば自然な形で昔の時代にタイムスリップすることができる。10年という歳月と多大な費用をかけ、学者や大勢の方々の協力のもとに完成したこの博物館を思うとき、大いに利用したい所である。なぜなら、未来への発想は古きを訪ねるところから始まると思うからである。今回の視察で田名向原遺跡には旧石器時代から人類が住んでいたことを知りとても感激を覚えた。12歳の佳澄は横浜線の古い電車と駅舎の写真を見て大変感動をしていた。上原さんにはお忙しいなかをご案内頂き有り難うございました。(山田 シズエ)



### 6月定例会のご案内

日時:6月10日(水)19:00~  
場所:相模原商工会議所  
テーマ:「コンパクトシティについて」

我が国は人口減少の道を歩んでいます。一方、地域では開発エリアを広げ、また過疎化した地方では自治運営すらあやぶまれ始めています。いずれ相模原市も人口減少が顕在化し、こうした問題に直面することになるでしょう。都市産業研究会ではこうした問題に対し何をすべきかを議論したいと思います。そのキーワードが「コンパクトシティ」かもしれません。

[担当:中嶋、唐澤]

○活動にご興味をお持ちの方は、事務局 TEL (042-753-8131)まで

### 都産研伝言板

#### 7月定例会:「藤野里山視察(宿泊)」予告

7月11日(土)夕方~12日(日)夕方にかけて、先頃「にほんの里100選」に選ばれた藤野町佐野川地区と、沢井地区にある市内唯一の国指定重文の建造物である「石井家住宅」への訪問などを含めた、市内最北部の文化・自然を楽しむ予定です。[担当:原(Y)、八木(D)、長崎]



#### さがみはら環境まつり 6月28日(日)

午前10時~午後5時(予定)、会場:環境情報センターおよび市体育館(JR横浜線相模原駅南口徒歩20分) 環境活動団体による展示発表のなどを通じて、楽しみながら環境を考えることができるイベントですので、ぜひお越し下さい。子どもから大人までご参加いただけます(入場無料)お問い合わせ:さがみはら環境まつり実行委員会事務局(環境対策課内)TEL042-769-8240 [担当:渡邊]

### 城北里山まつり (城山) 6月20日(土)

ホテルとあじさいを中心とした里山の自然を楽しんでもらおうと城山町城北地区の自然環境保全団体「プチエコ城北」が中心となって里山まつりが開催されます。あじさい 夏の風物詩であるほたるの出現で幻想の世界に私達を包んでくれます。是非見に来て下さい。

里山まつりは20日(土)ですがあじさい、ほたるは6/10~7/10頃までが見頃です。[平栗]

